

「第4期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」素案について

現行の第3期「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」（以下「実行計画」という。）が令和3年度末に終了することから、第4期実行計画の策定に取り組んでおり、実行計画の骨子案について、令和2年12月の第49回県民会議にて報告した。このたび、骨子案に対する県民意見募集等を行い、第4期実行計画の素案を取りまとめた。

1 骨子案に対する県民意見募集等の結果

(1) 県民意見募集

ア 実施期間 令和2年12月18日～令和3年1月17日

イ 意見募集の周知

(ア) 記者発表

(イ) 県の窓口における配架

県政情報センター、各地域県政情報コーナー、水源環境保全課等

(ウ) 県のホームページ等による情報提供

(2) 市町村への意見照会

令和2年12月18日～令和3年1月18日

(3) 実施結果

ア 寄せられた意見の件数 36件

イ 意見の内訳

内 容	市町村	県民	合計
(ア)特別対策事業の内容修正・追加・削除について	3件	13件	16件
(イ)記載内容の見直しについて	6件	6件	12件
(ウ)制度設計、交付金要綱等について	0件	1件	1件
(エ)その他	1件	6件	7件
合 計	10件	26件	36件

ウ 意見の反映状況

内 容	市町村	県民	合計
(ア)素案に反映した意見	1件	6件	7件
(イ)意見の趣旨が既に骨子案に反映している意見	0件	3件	3件
(ウ)今後の参考とする意見	1件	11件	12件
(エ)素案に反映できない意見	8件	5件	13件
(オ)その他	0件	1件	1件
合 計	10件	26件	36件

エ 寄せられた主な意見

(ア) 特別対策事業の内容修正・追加・削除について

a 意見の趣旨が既に骨子案に反映している意見

- ・ 山の崩壊を押さえる必要があるならば、水源環境保全税を活用して森林を迅速に復旧し、大切な水源林を保護すること。

b 今後の参考とする意見

- ・ 森林整備とシカの管理捕獲を連携して取り組むことが書かれているが、20年が終わってその後どうなるのだろうか。おそらくそこで取組を止めてしまえば、またシカが多くの下草を食べて土壌が流れてしまうので、大綱終了後も取組が継続できるような策を考えてほしい。

c 素案に反映できない意見

- ・ 水源林への県民理解を深めるため、例えばトレイルランやマウンテンバイク等のトライアルコースなど自然の山の地形を活かした利用ができるようにしてほしい。

(イ) 記載内容の見直しについて

a 素案に反映した意見

- ・ 「土砂崩壊防止機能を低下させない森林整備」という表現は、今までの整備方法が、土砂崩壊防止機能を低下させる整備であったかのような誤解を招く可能性があるので、表現の仕方を検討してほしい。

(ウ) 制度設計、交付金要綱等について

a 素案に反映できない意見

- ・ 水源の森は、国や県などが持っているものもあるが、私有のものもある。私有地は、所有者によって開発される可能性があるので心配である。県によって取得して、将来に渡って管理する方が心配ないと考える。そのために、財源が必要というならば、今の年額千円を3,000円に増額するなどの対応をすれば可能ではないか。

(エ) その他

a 今後の参考とする意見

- ・ 市民への補助金、イベント開催、毎年監査、委員会もやってくれるようであり、そこそこの金額が使われているように見える。こういったものは、全く無くていいとは言わないが、必要最小限で良い。
- ・ 「施策大綱」の時限到来後も引き続き、水源環境保全及び再生施策を推進し、その財源となる水源環境保全税を存続させることを要望する。

2 素案で新たに追加した主な事項

- (1) 骨子案に対する県民意見等を踏まえ、次のとおり追加した。
- ア 各特別対策事業の対象地域、ねらい、目標、事業主体、事業内容、事業費を記載した。
 - イ 事業費は、調整中の「9 相模川水系上流域対策の推進」を除き、単年度平均63億6,400万円、うち新規必要額（充実・強化して取り組む特別対策の事業費）として43億4,600万円を見込む。

(2) 11の特別対策事業

第4期計画素案	
1	<p>水源の森林づくり事業の推進</p> <p>良質で安定的な水を将来にわたり確保するため、水源の森林エリア内の荒廃が懸念される私有林の状況に応じた適切な管理、整備を進めることで、水源かん養など森林の持つ公益的機能を向上させ、「豊かで活力ある森林」を持続させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 水源林の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・確保面積 第4期計画 3,400ha （20年間の目標 25,800ha） ② 水源林の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・整備面積 第4期計画 14,500ha （20年間の目標 54,000ha） ③ かながわ森林塾の実施 新規就労者の育成 50人 <第4期計画の5年間計 12,731百万円（単年度平均額 2,547百万円）> <うち新規必要額 6,231百万円（単年度平均額 1,247百万円）>
2	<p>丹沢大山の保全・再生対策</p> <p>水源の保全上重要な丹沢大山を中心として、シカ管理による林床植生の衰退防止や衰退しつつあるブナ林等の再生に取り組むことで、森林土壌の保全や生物多様性の保全などの公益的機能の高い森林づくりを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 中高標高域におけるシカ管理の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・管理捕獲実施箇所 延べ150箇所（30箇所/年） ・㊦ シカ捕獲実施者への奨励金交付 市町村が行う水源保全地域でのシカ捕獲に対し、捕獲頭数に応じた奨励金を交付 ② ブナ林等の再生 ③ 県民連携・協働事業 <第4期計画の5年間計 1,546百万円（単年度平均額 309百万円）> <うち新規必要額 1,546百万円（単年度平均額 309百万円）>

3 土壌保全対策の推進

台風災害により発生した森林の崩壊地等において、これまでの土壌保全対策に加えて土木的工法も導入し、水源かん養機能の発揮に重要な役割を果たす森林の土壌保全対策の強化を図る。

- ① 水源林の基盤の整備（箇所数の増） 箇所数 80箇所
- ② 中高標高域の自然林の土壌保全対策の実施 面積 47ha
- ③ 高標高域の人工林の土壌保全対策の実施 面積 70ha

〈第4期計画の5年間計 1,826百万円（単年度平均額 365百万円）〉

〈うち新規必要額 1,826百万円（単年度平均額 365百万円）〉

4 間伐材の搬出促進

間伐材の搬出を支援し、有効利用を図ることで、森林所有者自らが行う森林整備を促進し、水源かん養など公益的機能の高い良好な森林づくりを進める。

また、併せて、間伐材等の森林資源を有効利用することにより、民間主体の持続的・自立的な森林管理の確立を目指す。

- ① 間伐材の搬出支援 事業量の増 130,000 m³ (26,000 m³/年)
- ② 生産指導活動の推進 事業量 50箇所

効率的な搬出方法やICTなどを活用した生産効率の向上等の生産指導を支援

〈第4期計画の5年間計 1,411百万円（単年度平均額 282百万円）〉

〈うち新規必要額 1,411百万円（単年度平均額 282百万円）〉

5 地域水源林整備の支援

荒廃が懸念される地域水源林において、市町村が主体的に取り組む森林整備などを推進することで、水源かん養など森林の持つ公益的機能を向上させる。

- ① 市町村が実施する私有林の確保・整備
 - ・確保面積 575ha (20年間の目標の見直し 3,500ha)
 - ・整備面積 1,350ha
- ② 市町村有林の整備 整備面積 380ha
- ③ 森林所有者が実施する間伐の促進（県） 整備面積 50ha

(20年間の目標の見直し 700ha)

〈第4期計画の5年間計 3,333百万円（単年度平均額 667百万円）〉

〈うち新規必要額 3,333百万円（単年度平均額 667百万円）〉

6 河川・水路における自然浄化対策の推進

水源として利用している河川において、生態系による自然浄化や水循環の機能を高めることで、水源水質の維持・向上を目指す。

- ① 生態系に配慮した河川・水路の整備 工事箇所数の減 5箇所
- ② 効果的な河川・水路の整備についての事例集作成

〈第4期計画の5年間計 1,067百万円（単年度平均額 213百万円）〉

〈うち新規必要額 947百万円（単年度平均額 189百万円）〉

7 地下水保全対策の推進

地下水（伏流水、湧水を含む）を主要な水道水源として利用している地域において、それぞれの地域特性に応じて市町村が主体的に行う地下水かん養や水質保全等の取組を促進し、良質で安定的な地域水源の確保を図る。

- ① 地下水保全計画の策定
- ② 地下水かん養対策
- ③ 地下水汚染対策
- ④ 地下水モニタリング

〈第4期計画の5年間計 597百万円（単年度平均額 119百万円）〉

〈うち新規必要額 577百万円（単年度平均額 115百万円）〉

8 生活排水処理施設の整備促進

富栄養化の状態にあるダム湖への生活排水（窒素・リン）の流入や相模川水系・酒匂川水系への未処理の生活排水の流入を抑制することにより、県内水源保全地域の生活排水対策を総合的に推進し、水源環境の負荷軽減を図る。

- ① 公共下水道の整備促進
- ② 一般家庭等の高度処理型合併処理浄化槽の整備促進
- ③ 事業所等の高度処理型合併処理浄化槽の整備促進
- ④ 一般家庭の合併処理浄化槽への転換促進

目標： 県内水源保全地域の生活排水処理率 97.6%

うちダム集水域の生活排水処理率 83.8%

〈第4期計画の5年間計 8,008百万円（単年度平均額 1,601百万円）〉

〈うち新規必要額 4,556百万円（単年度平均額 911百万円）〉

<p>9 相模川水系上流域対策の推進（調整中）</p> <p>相模川水系全体の流域環境保全に向け、山梨県との共同事業により、県外上流域における水源環境の保全・再生を図る。</p> <p>① 森林整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 荒廃森林再生事業 ・ 広葉樹の森づくり推進事業 <p>② 生活排水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 桂川清流センター（下水処理施設）において、リン削減効果のある凝集剤による排水処理を実施 放流水の目標全リン濃度 0.6mg/l <p>〈第4期計画の5年間計 調整中（単年度平均額 調整中）〉</p> <p>〈うち新規必要額 調整中（単年度平均額 調整中）〉</p>
<p>10 水環境モニタリングの実施</p> <p>「順応的管理」の考え方にに基づき、事業実施と並行して、水環境全般にわたるモニタリング調査を実施し、事業の効果と影響を把握しながら評価と見直しを行うことで、柔軟な施策の推進を図る。</p> <p>① 森林のモニタリング調査</p> <p>② 河川のモニタリング調査</p> <p>③ 情報提供</p> <p>④ 酒匂川水系上流域の現状把握</p> <p>〈第4期計画の5年間計 1,095 百万円（単年度平均額 219 百万円）〉</p> <p>〈うち新規必要額 1,095 百万円（単年度平均額 219 百万円）〉</p>
<p>11 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み</p> <p>水源環境保全・再生施策について、計画、実施、評価、見直しの各段階に県民意見を反映させ、県民が主体的に事業に参加し、県民の意志を基盤とした施策の展開を図る。</p> <p>① 「水源環境保全・再生かながわ県民会議」の運営等</p> <p>水源環境保全・再生施策の総合的評価の一つとして経済評価を実施</p> <p>② 市民事業等の支援</p> <p>〈第4期計画の5年間計 208 百万円（単年度平均額 42 百万円）〉</p> <p>〈うち新規必要額 208 百万円（単年度平均額 42 百万円）〉</p>
<p>事業費合計（調整中を除く）</p> <p>〈第4期計画の5年間計 31,822百万円（単年度平均額 6,364百万円）〉</p> <p>〈うち新規必要額 21,730百万円（単年度平均額 4,346百万円）〉</p>

3 今後のスケジュール（予定）

令和3年3月 実行計画素案について県民意見募集
自治基本条例に基づく県と市町村との協議
6月以降 県議会へ実行計画案の報告
県税条例改正案の提出
実行計画の策定、公表

《参考》第4期実行計画事業費

単位：百万円 [5年間計]

() 内は単年度平均

事業名	第3期計画		第4期計画	
	事業費	うち新規必要額	事業費	うち新規必要額
1 水源の森林づくり事業の推進	12,875 (2,575)	6,244 (1,249)	12,731 (2,547)	6,231 (1,247)
2 丹沢大山の保全・再生対策	1,252 (250)	1,252 (250)	1,546 (309)	1,546 (309)
3 土壌保全対策の推進	1,310 (262)	1,310 (262)	1,826 (365)	1,826 (365)
4 間伐材の搬出促進	1,550 (310)	1,550 (310)	1,411 (282)	1,411 (282)
5 地域水源林整備の支援	2,865 (573)	2,865 (573)	3,333 (667)	3,333 (667)
6 河川・水路における自然浄化対策の推進	1,490 (298)	1,490 (298)	1,067 (213)	947 (189)
7 地下水保全対策の推進	396 (79)	396 (79)	597 (119)	577 (115)
8 生活排水処理施設の整備促進	6,169 (1,234)	3,483 (697)	8,008 (1,601)	4,556 (911)
9 相模川水系上流域対策の推進	190 (38)	190 (38)	(調整中)	(調整中)
10 水環境モニタリングの実施	1,040 (208)	1,040 (208)	1,095 (219)	1,095 (219)
11 県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	230 (46)	230 (46)	208 (42)	208 (42)
合計（調整中は除く）	29,367 (5,873)	20,050 (4,010)	31,822 (6,364)	21,730 (4,346)